事例No.	2648
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	「ぐるっと生瀬」運行協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・交通事業 ・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	交通事業

事例内容・タイトル

「ぐるっと生瀬」運行協議会

出典

平成29年度ふるさとづくり大賞事例集

「ぐるっと生瀬」運行協議会　兵庫県西宮市

概　要

生瀬地域は、急勾配かつ狭隘な道路が多く、移動は専ら自家用車に依存しており、川を挟んだ各地区のコミュニティや交通事情等は異なっていた。また、高齢化が進展し、特に移動面での課題が顕在化していた。そこで、当該地域の住民は、持続可能な移動手段の確保を目的に、地域住民からなる「ぐるっと生瀬」運行協議会を組織し、種々の検討を繰り返しながら、平成27年10月より本格運行を開始した。当該協議会では、地域を盛り上げ、「ひと」や「まち」をつなぐ取組を積極的に継続して取り組んでいる。



評価された点

・コミュニティバスの運行だけでなく、利用者の増加のためのさまざまな取組を積極的に行い、地域交流につなげている。このように地域全体を盛り上げていくことでコミュニティバスの利用も増加するというモデルを示してくれている、各地のお手本となる取組と考える。
・コミュニティバスの運行を地域を盛り上げる起爆剤として活用し、大きく展開している点がユニークで注目に値する。ゆるキャラを住民自身の手で作って活用したり、子供たちの乗車体験を受け入れたり、住民の強い地域愛が感じられる。単なる移動手段ではなく、ひとやまちをつなぐコミュニティバスの取組は同様の取組をしている他の地域へのいいモデルになるだろう。
・コミュニティバス事業を通じて、交通弱者支援を行うだけではなく、オリジナルのキャラクターや音頭を生み出し、住民の地域への愛着やコミュニティ形成に貢献している点が評価できる。
・まだ運行からの日数が浅いものの、川を挟んだ地域間の移動を地域住民が主体的に問題解決に取り組んでいる姿勢は評価に値する。
・多くの輸送人員実績があり、住民の生活の足として定着している。バス車内での会話など交流が生まれていることも良いのではないか。



鹿ノ台自治連合会　奈良県生駒市

概　要

生駒市鹿ノ台地区は、周辺を緑に囲まれ閑静で良好な街並み景観を呈し、定住意識の高い街であり、地域住民が「自分たちの街は自分たちで守る」という意識のもと、約40年前から、行政と住民参加の協働による良好なまちづくり、地域づくりを実現している。当地区では、入居開始当初から、住民主体で一丸となって、時代を先取りしたエリアマネージメントを堅持し、様々な取組を長年継続して活動してきている。



評価された点

・40年前から主体的な活動を展開し、環境再生、景観保全、防犯、健康づくりなどの広範な分野に広がっている。自治会活動の範となる取組である。
・行政に頼らない自主的な地域づくり活動を、40年間継続している点を評価。
・40年にわたる自治活動であり、行政と市民の協働によるまちづくりが実践されている。住民の自主性や協働性が育まれた取組である。
・住民自治、市民協働の地域づくりの先駆的な取組。
・長年の取組で、特に住民主体でエリアマネジメントの取組を進めた点は、先駆的であり評価できる。
・自治会の崩壊等、一般的には住民意識が揺らぐ傾向がある中、社会経済の大きな変化の中で、着実に40年以上積み重ねてきた活動こそが「定住意識」と「ふるさと愛」を築いてきている。

